

第1回「福井県白川文字学ゼミ」公開講座

「甲骨文・金文の「文」字を通して 文化と文化圏を考える」



「文」という文字は文身(入れ墨)の形を示したものです。それを様々な角度から論証した白川博士の論文「釈文(しゃくぶん)」の内容について、新しい資料も交え、わかりやすく解説します。

講師

立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所
客員研究員

高島 敏夫 氏

日時 平成29年7月28日(金)14:30~16:00 受付14:00~
(16:00~16:30 ゼミ会員による学習会)

場所 福井県立若狭図書学習センター ☎ 0770-52-2705
福井県小浜市南川町6-11

《 今後のお知らせ 》

福井県白川文字学ゼミ公開講座

福井県では、『字統』『字訓』『字通』の字書三部作を著し、漢字文化の振興に寄与した白川静博士出身地として、白川文字学を活用した漢字教育を実践しています。福井の地から国語・漢字教育の振興・発展を図りたいという白川博士の遺志を継承するとともに、白川博士の研究への理解を深めることを目的に、白川博士の「白川文字学ゼミ公開講座」として白川文字学に通ずる研究者を講師にお招きしてゼミを開催しています。

第1回は、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所客員研究員の高島敏夫氏をお迎えし、「甲骨文・金文の「文」字を通して文化と文化圏を考える」というタイトルでお話いただきます。

第1回ゼミは、講座終了後、ゼミ会員による学習会を実施します。

今後開催予定の講演会

	場所	日時	テーマ	講師
第二回	福井県生活学習館	8/3(木) 14:30～	白川文字学で読む『論語』	安田登氏 (能楽師)
第三回	福井県立図書館	11/10(金) 14:00～	字体の正しさと字形の望まし さー漢字を手書きする際に大 切にすべきこととしてー	押木秀樹氏 (上越教育大学教授)
第四回	福井県国際交流会館	11/25(土) 14:00～	『人類』はファンタジー ～白川静、文字と文学の世界～	辻原登氏 (神奈川県近代文学館館長)

第3、4回の講演会は、ゼミ会員による学習会はありません。

お申し込み先

- 電話 0776-20-0559
- メール syoubun@pref.fukui.lg.jp
①タイトルに「白川文字学ゼミ公開講座参加希望」とお書きください。②お名前 ③年齢 ④お電話番号
⑤講座日 をお書きください。
- FAX 0776-20-0672
下記の表にご記入の上、切り取らずにこのまま送信してください。

☆フレンドリーバス・公共交通機関の利用、およびアイドリングストップにご協力ください。

参加申込書

第1回福井県白川文字学ゼミ公開講座 「甲骨文・金文の「文」字を通して文化と文化圏を考える」

講師 高島 敏夫氏

ふりがな お名前		年齢	電話番号
		歳	— —